

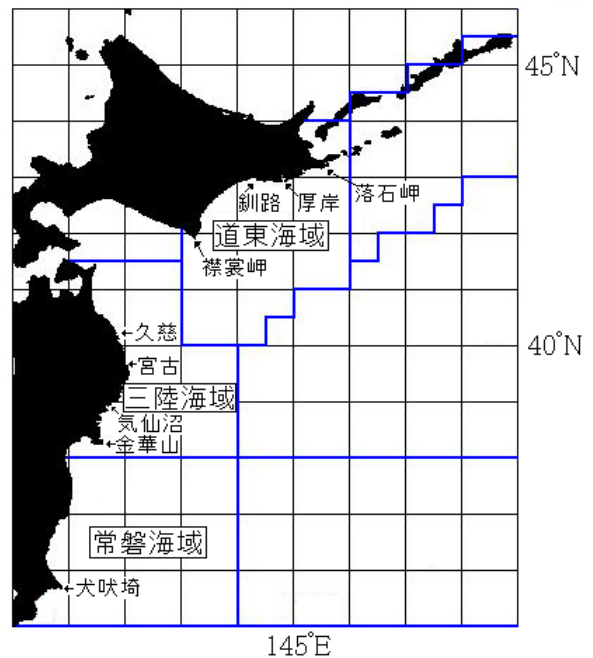
平成24年度 第4回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2012年10月中旬～11月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、来遊量は徐々に減少し、10月中旬は中位水準であるが、10月下旬～11月上旬は低位水準となる。
- ・三陸海域では、来遊量は徐々に増加し、11月上旬は中位水準となる。11月下旬から減少する。
- ・常磐海域では、11月上旬に一時的ではあるが来遊がある。11月下旬は中位水準となる。



海域の名称

問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成24年度 第4回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2012年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

10月中旬は中位水準であるが、来遊量は減少し、10月下旬～11月上旬は低位水準となる。11月中旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

10月中旬の主漁場は、落石～襟裳岬沖となる。11月上旬になると落石沖の漁場が消滅し、11月上旬は厚岸～襟裳岬沖に、11月中旬は襟裳岬沖に漁場が残る。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月中旬は、一時的ではあるが来遊があり、来遊量はゆるやかに増加する。10月下旬までは低位水準であるが、11月上旬～下旬は中位水準となる。11月下旬から、来遊量は減少する。

(2) 漁場

10月中旬は、三陸北部に一時的に漁場が形成される可能性がある。10月下旬までは、漁場は三陸北部であるが、11月上旬になると漁場が三陸南部まで広がる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月上旬は、一時的ではあるが来遊がある。来遊量は増加し、11月中旬は低位水準であるが、11月下旬は中位水準となる。

(2) 漁場

11月上旬は、常磐北部に一時的に漁場が形成される。11月中旬になると、漁場は常磐南部まで広がる。

2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位減少	低位減少	低位減少	断続的	
	漁 場	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	厚岸～襟裳岬沖	襟裳岬沖	
三陸海域	来遊量					
	動向	一時的	低位増加	中位増加	中位水準	中位減少
	漁 場	北部	北部	北部～南部	北部～南部	北部～南部
常磐海域	来遊量					
	動向			一時的	低位増加	中位増加
	漁 場			北部	北部～南部	北部～南部

3. 漁況の経過概要（9月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬を上回ったものの、前年をやや下回る低位水準であった。道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東南東沖における来遊量の水準は、前旬や前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加している。

(2) 漁場

主漁場は、落石～厚岸沖であった。落石南東～厚岸南沖（12～19℃）では、25日夜以降、漁場が持続した。漁場は、25日夜は落石沖であったが、27日夜は厚岸沖まで広がった。操業隻数は徐々に増え、27日夜には大型船20隻程度と小型船が多数操業した。漁獲量は徐々に増え、30日夜には大型船1隻で100トン以上漁獲する船もあった。

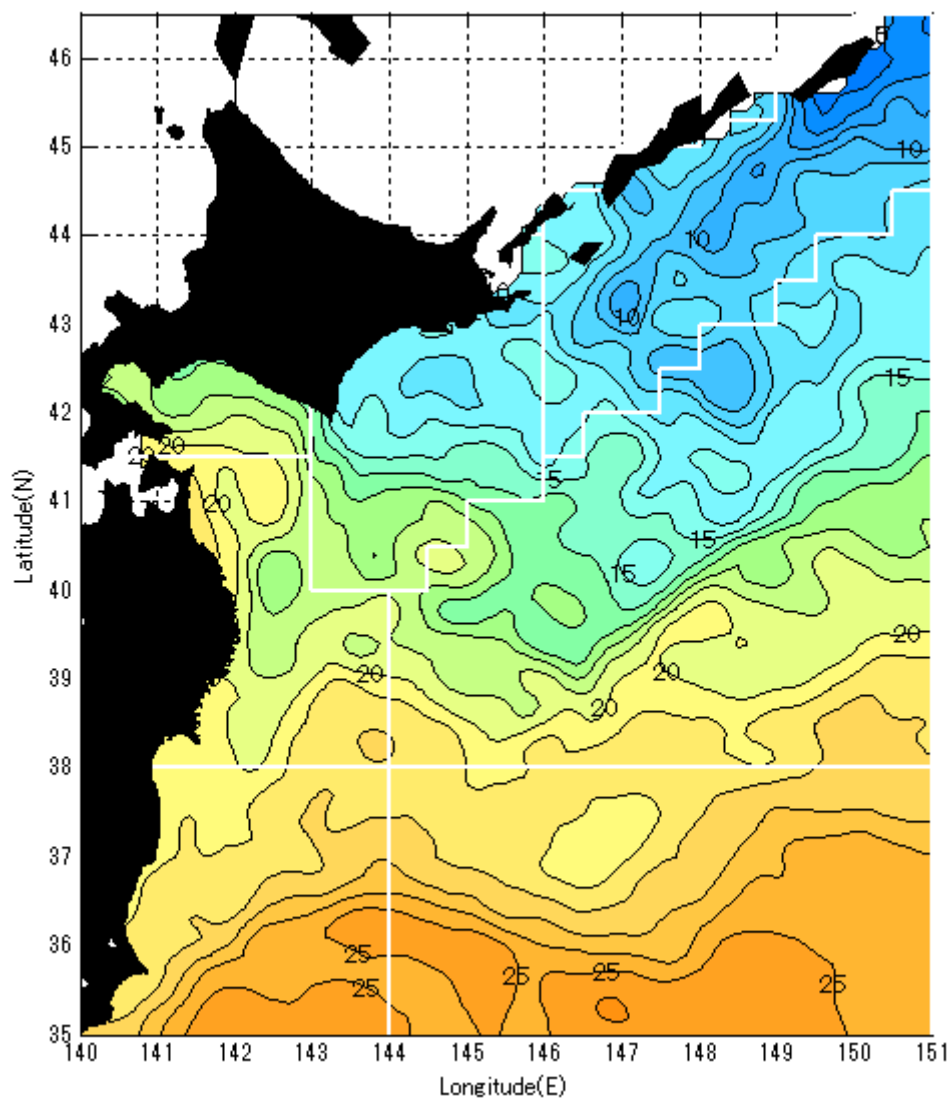
また、道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東南東沖では、連日漁場が形成された。

(3) 魚体

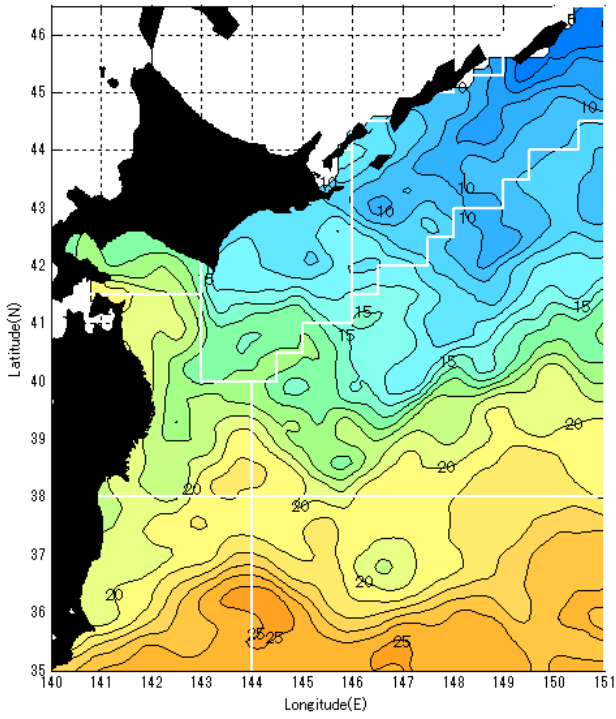
体長31～32cmモードの大型魚と26～27cmモードの中型魚主体。前年よりも中型魚以下の混じり具合が多い。大型魚の体重は、140～150g台主体で、さらに痩せてきた。

5. 予測水温分布図

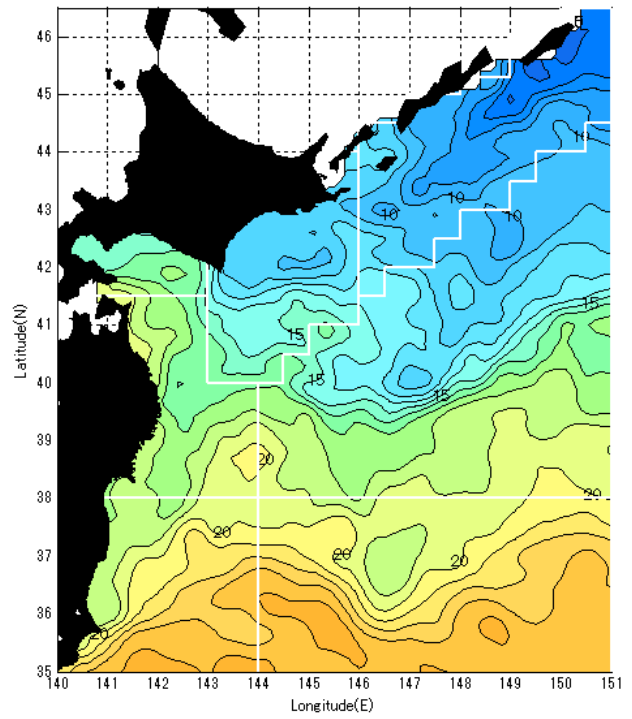
10月中旬予測表面水温分布図



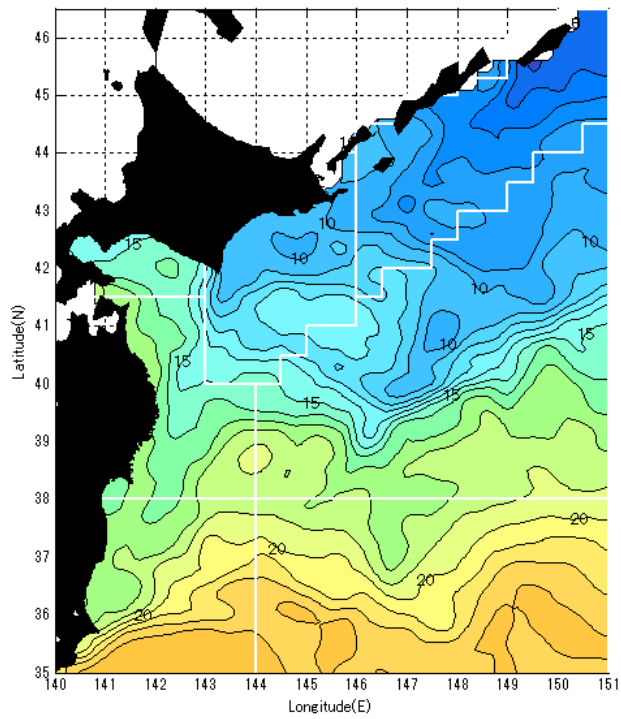
10月下旬予測表面水温分布図



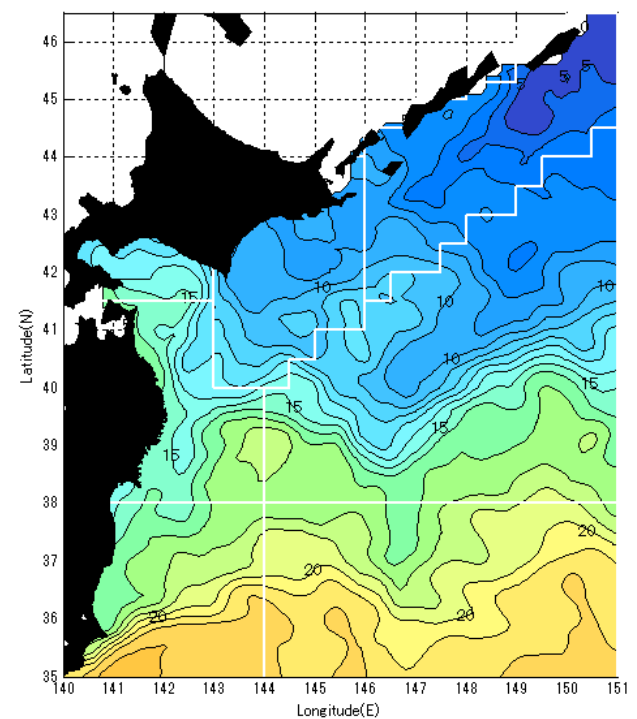
11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--